



伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

# 第106期 中間報告書

2023.4.1 ▶ 2023.9.30

トップメッセージ

共有価値を創造し、循環させることで  
持続的成長を目指す



## 共有価値を創造し、循環させることで 持続的成長を目指す

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2023年度（第106期）第2四半期累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業概況をご報告し、通期業績の見通しについてご説明させていただきます。

2023年11月

代表取締役社長  
社長執行役員

岡本均

### 企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、  
健康で豊かな食生活創りを通じて  
消費者と社会に貢献します

### ◆ 連結決算ハイライト (単位:百万円)





## 2023年度第2四半期までの業績

当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済正常化に加え、人出の増加や夏場の記録的な猛暑による消費下支え、賃金上昇の全国的潮流が後押し、景気は徐々に回復いたしました。これに伴い、外食・CVSでは客数・客単価ともにコロナ禍以前を上回る回復・拡大が見られました。一方でSM<sup>\*1</sup>においては、NB商品の価格改定が進みましたが、引き続き消費者の生活防衛意識の高まりから買い控えや割安なPB商品の需要が高まるなど、市場構造の変化が続いております。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期までの経営状況は、CVSやGMS<sup>\*2</sup>・SM向けにおける新規取引の獲得、ドラッグストア向け取引の拡大、外食・業務用取引の需要回復により、前年を上回る売上高となりまし

\*1 SM(Super Market)=食品スーパー

\*2 GMS(General Merchandise Store)=総合スーパー

た。また利益面については、売上増加に伴う粗利の増加や物流事業における収入の増加に加えて、同業卸との協業や運営の効率化などによるコストの抑制など、低重心経営を徹底した結果、増益を果たしました。

以上により、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高3,388億81百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益43億15百万円（同26.2%増）、経常利益50億48百万円（同22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億33百万円（同23.0%増）となりました。

## 新中期経営計画 「Transform 2025～創造と循環～」

当社は新たな中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」を5月に公表しました。「食を中心とする領域で

■第2四半期累計 ■通期

詳細はP7-8をご覧ください。

### 営業利益

4,315百万円  
(前年同期比26.2%増)



### 経常利益

5,048百万円  
(前年同期比22.6%増)



### 親会社株主に帰属する四半期純利益

3,533百万円  
(前年同期比23.0%増)



の共有価値の創造と循環～社会的価値と経済的価値の両立～」を目指す姿とし、消費者も含めたサプライチェーン内で社会的価値と経済的価値を両立させた共有価値を「創造」し、それを「循環」させることで持続的成長を目指してまいります。重点分野として「情報」・「商品開発」・「物流」を掲げ、前中計で進めてきた取り組みをより一層進化させ、収益力の向上を図ります。

「情報」については、「デジタルサイネージ」の取り組みでこれまで築いてきた基盤を積極的に活用し、来店動機や購買意欲を喚起する販促の確立に尽力しています。サイネージに放映するコンテンツの拡充・ブラッシュアップを行い、消費者に有意義な情報を提供することで小売業の課題の一つである店舗集客の増加につなげる施策に注力してまいります。今後は、各取り組みの結果を分析し得られた情報から共有価値を創造し、製・配・販のサプライチェーン上で循環させることで事業の拡大を図ります。

「商品開発」については、近年注目度が高い冷凍食品市場において注力商品である「凍眠市場」（とうみんいちば）の拡販に努めました。カタログギフトやEC、店頭のみならずふるさと納税の返礼品としても採用されており、地域振興にも貢献しています。またその他にも、有名ブランドとのコラボレーションや、多様化する消費者ニーズに応えるきめ細かな開発を各温度帯で行い、差別化につながる商品を提案いたしました。

「物流」では、中間流通を担う卸としてサプライチェーン全体の効率化を目指し、製・配・販での協業を進めました。物流の2024年問題にあたり三層の各社が保有する車両や拠点などの資産を相互補完的に活用することで対策を行っています。

これらの重点分野の基盤である人的資本については、ダイバーシティ・エクイティの観点から人材価値の最大化に向けた取り組みを多岐にわたり進めています。働き方改革では、エリア総合職を新設し、コロナ禍で運用していたスライドワークと在宅勤務を制度化いたしました。DX関連については、アセスメントやEラーニングを実施し、DX人材の発掘や社員全体の基礎力向上を図っています。また、女性が活躍できる職場の実現を目指し、社外取締役による管理職向けの研修も実施いたしました。

今年度見直しを行ったマテリアリティ（重要課題）については、温室効果ガスの削減、廃プラスチックの排出削減とリサイクル促進、食品廃棄量の削減などの取り組みを継続的に進めています。食品の中間流通を担うエッセンシャルワーカーとして責務を果たしながら、中期経営計画で掲げた「社会的価値」と「経済的価値」の両立を目指します。

## 通期業績の見通しと利益還元について

当第2四半期連結累計期間の業績および第3四半期連結会計期間の進捗状況を考慮した結果、2023年7月31日に公表した2024年3月期の連結業績予想を上方修正いたしました。経営環境は引き続き不透明な状況ではありませんが、好調な上期決算を受け、下期の計画内で対応可能と判断し、期初に設けたバッファーを除外したものです。

通期の連結業績は、売上高6,800億円、営業利益70億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益55億円を見込んでいます。下期においても重点分野を中心に各施策の取り組みを加速させるとともに、低重心経営を引き続き徹底し、見通しを必達する所存です。



なお今回の中間配当は、予定どおり1株あたり50円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 2023年度～2025年度 中期経営計画 「Transform 2025～創造と循環～」

#### 【目指す姿】

食を中心とする領域での共有価値の創造と循環  
～社会的価値と経済的価値の両立～

### ◆ 2023年度(第106期) 通期連結業績予想

売上高	6,800億円
営業利益	70億円
経常利益	80億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	55億円

## C L O S E - U P

### 店頭デジタルサイネージの取り組み

中期経営計画の重点分野である「情報」の取り組みでは、小売店頭に設置するデジタルサイネージを活用して魅力ある売り場づくりのサポートを推進しています。画面上にレシピ動画や商品広告、特売情報などを放映することで、消費者の購買意欲の喚起につなげることを目的としています。

最新の施策では、デジタルサイネージに表示したQRコードから応募ができるプレゼントキャンペーンを実施しています。各店舗、エリアごとにキャンペーンのターゲットを絞ることも可能で、メーカーの販促強化や小売の集客向上にも資する取り組みです。

一連の取り組みをとおして得ることのできる消費者のインサイトを、製・配・販のサプライチェーン上で共有価値として循環させることで、豊かな食生活の実現を目指していきます。



# 中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」

当社は2023年5月に、新たな3か年の中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」(以下：本中計)を策定・公表いたしました。本中計の目指す姿は「食を中心とする領域での共有価値の創造と循環～社会的価値と経済的価値の両立～」です。情報・商品開発・物流を重点分野と位置づけるとともに、それらの礎となる人材育成にも注力し、社会・経済両面において価値のある貢献を果たすことで、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。



## 重点分野

### 情報

- デジタルメディアとの連携による価値伝達のエコシステムの形成
- データに基づいた施策立案・実行・効果測定

### 商品開発

- 消費者起点の惣菜取り組みの進化 (製造・開発機能の拡充・産地開拓)
- 冷凍・チルド商品の磨き (凍結機能の提供)

### 物流

- 製・配・販連携/同業連携によるサプライチェーン効率化と相互補完の推進
- DX推進によるオペレーションの高度化・効率化

TOPICS  
01

## 東海エリアで太陽光発電による 電力利用開始

当社は、温室効果ガス排出削減目標を設定し、これまでもLED照明への切り替えや営業用の社有車をハイブリッド車へ切り替えるなどの対策をしてきましたが、新たな取り組みとして、7月より大府東海物流センター(愛知県)で太陽光発電による電力利用を本格的に開始しました。これにより、大府東海物流センターにおけるCO<sub>2</sub>排出量の50%削減を見込んでいます。本格稼働以降、太陽光発電からの受電量が大府東海物流センターにおける電気使用量全体の約7割となっており、その実用性を早々に確認することができました。また、太陽光パネルを屋根に設置したことによる遮熱効果や、社員の節電意識の醸成にもつながっています。



当社は引き続き、気候変動への対応、資源の有効活用に積極的に取り組み、低炭素・循環型社会の形成に貢献してまいります。

TOPICS  
02

## 商業高校フードグランプリ 4年ぶりにリアル開催

全国の商業高校生がプロデュースする“食”の商品コンテスト「第10回商業高校フードグランプリ」の本選が11月11日(土)に三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAYで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止やオンライン開催を経て4年ぶりにリアル形式での開催となりました。今回、全国23校から29商品のエントリーがあり、厳正なる予選審査の結果、6校6商品が本選へ進出。審査員による試食審査およびプレゼンテーション審査の末、各賞が決定しました。本選の結果は以下URLまたはQRコードからご覧ください。



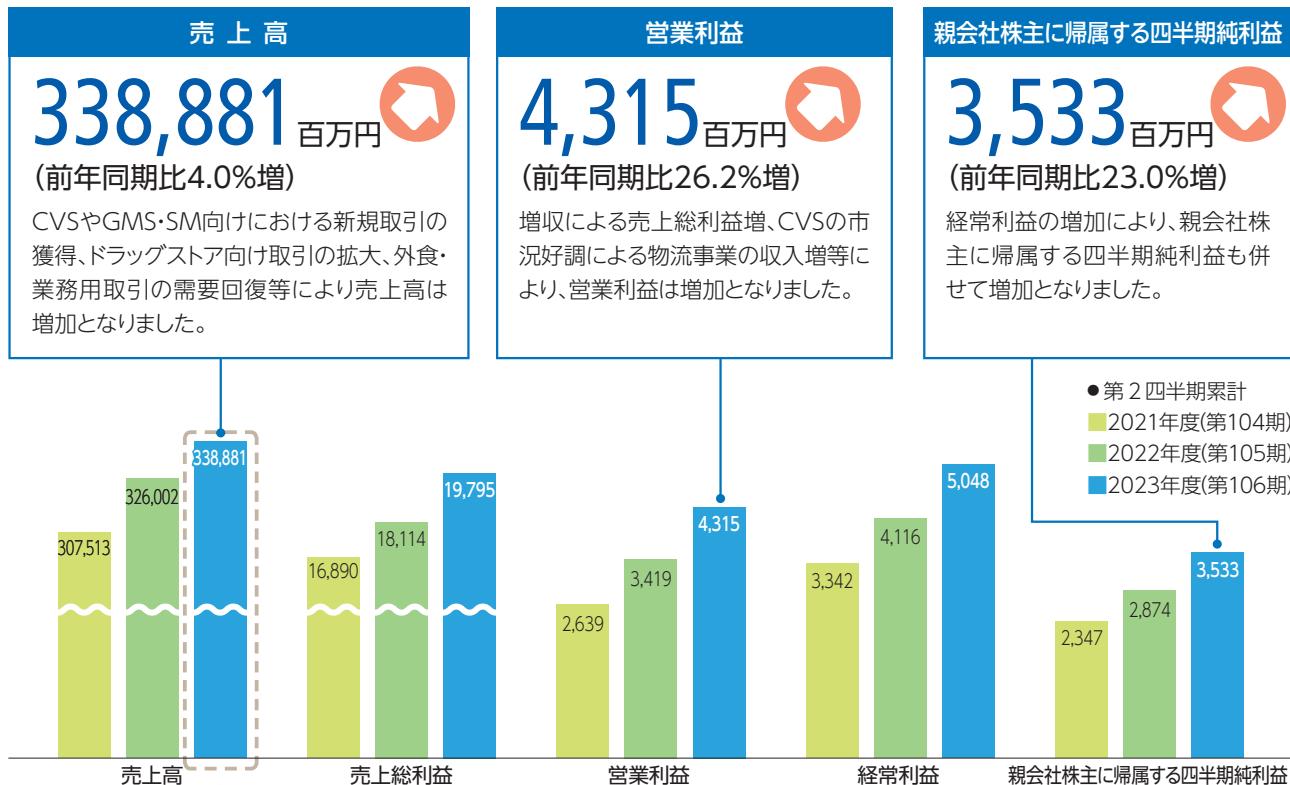
<https://foodgrandprix.com/>



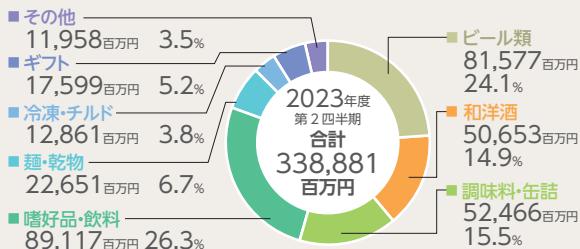
学校名	商品名
北海道函館商業高等学校	函商生コラボ だでうめえ!! 北のハンバーグ
北海道札幌東商業高等学校	焼いてびっくり!? ブラックたこやき粉
千葉商科大学付属高等学校	高校生が考えた!! 千葉県産ピーナッツ入りのシューラスク
静岡県立伊豆伊東高等学校	伊豆ニューサマーオレンジゼリー
広島県立西条農業高等学校	ゆずっぱちゼリー
長崎県立杵岐商業高等学校	イカゆずBeans

# 連結決算の概要

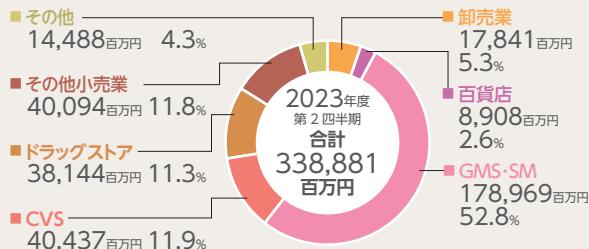
## ▶ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



### 商品分類別 売上高構成比

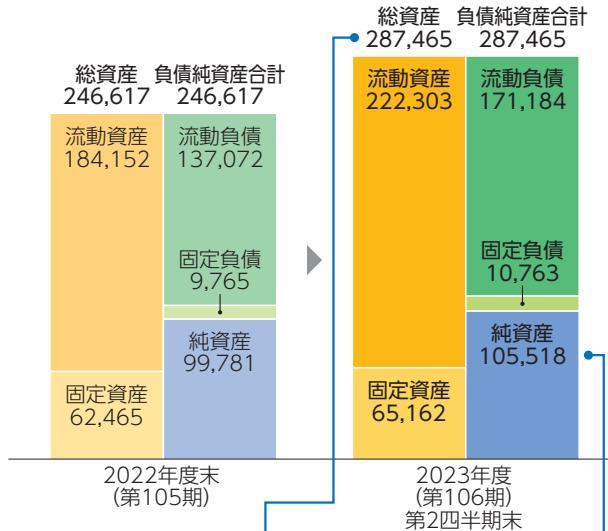


### 業態別 売上高構成比





## ▶ 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



## 総資産

# 287,465

百万円

総資産は、2,874億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ408億47百万円の増加となりました。これは、ビール類・飲料の夏季需要増、また9月末日休日要因により売上債権が203億12百万円、グループ預け金が93億円、未収入金が64億55百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

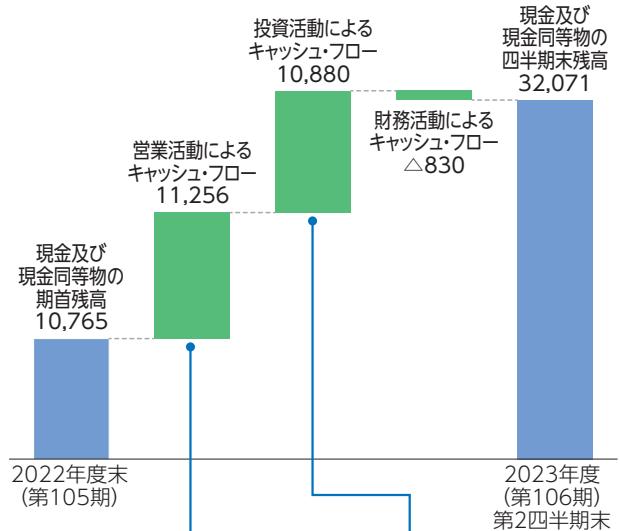
## 純資産

# 105,518

百万円

純資産は、1,055億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億37百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が30億26百万円、その他有価証券評価差額金が27億9百万円増加したことなどによるものであります。

## ▶ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

営業活動による  
キャッシュ・フロー

# 11,256

百万円の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは112億56百万円の収入となり、前年同期と比べ59億72百万円の収入の増加となりました。これは、9月末日休日要因及び営業活動による収益の拡大により収入が増加したことなどによるものであります。

投資活動による  
キャッシュ・フロー

# 10,880

百万円の収入

投資活動によるキャッシュ・フローは108億80百万円の収入となり、前年同期と比べ118億80百万円の収入の増加となりました。これは、グループ金融ターム型預け入れ満期に伴い120億円増加したことなどによるものであります。

(2023年9月30日現在)

商号 伊藤忠食品株式会社  
 創業年月日 1886年2月11日(明治19年2月11日)  
 設立年月日 1918年11月29日(大正7年11月29日)  
 資本金 4,923,464,500円  
 従業員数 連結1,190名 個別896名  
 事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、  
 運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する  
 マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。  
 本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22  
 大阪本社  
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22  
 電話(06)6947-9811  
 東京本社  
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7  
 電話(03)5411-8511  
 子会社・  
 関連会社  
 ■ 連結子会社  
 ■ 関連会社  
 卸売業/■(株)スハラ食品 ■(株)中部メイカン  
 投資事業/■ワイ&アイホールディングス(同)  
 小売業/■(株)アイ・エム・シー  
 物流管理・運送業/■新日本流通サービス(株)  
 サービス業/■ISCビジネスサポート(株)

## 取締役及び監査役

代表取締役社長・ 社長執行役員	岡本 均	独立社外取締役 (非常勤)	奥田 高子
取締役・ 副社長執行役員	河原 光男	独立社外取締役 (非常勤)	中条 薫
取締役・ 常務執行役員	魚住 直之	常勤監査役	長島 秀昭
取締役・ 常務執行役員	福嶋 義弘	監査役 (非常勤)	清家 隆太
取締役・ 執行役員	大森 賢律	独立社外監査役 (非常勤)	増岡 研介
取締役 (非常勤)	中村 洋幸	独立社外監査役 (非常勤)	山岡信一郎
独立社外取締役 (非常勤)	宮坂 泰行		

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の  
 口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

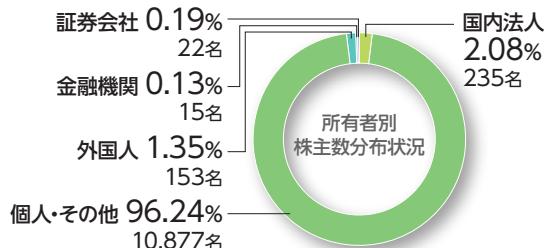
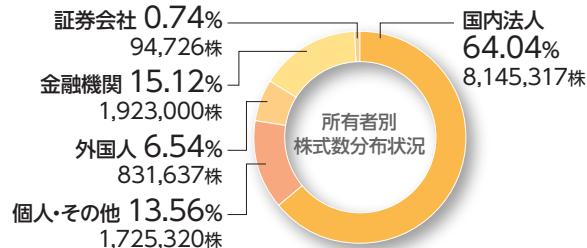
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 受付時間 9:00~17:00(土日休日除く)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および  
 全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない  
 事由により電子公告をすることができない場合は、  
 日本経済新聞に掲載します。  
 \* 公告掲載の当社ホームページアドレス  
<https://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株  
 証券コード 2692

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 12,720,000株  
 株主数 11,302名



## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	6,620,316	52.18
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビル株式会社退職給付信託口)	815,000	6.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	600,700	4.73
味の素株式会社	339,129	2.67
アサヒビル株式会社	296,500	2.34
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	249,300	1.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	201,200	1.59
伊藤忠食品 従業員持株会	129,000	1.02
はごろもフーズ株式会社	87,100	0.69
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	79,400	0.63

(注) 1 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数(32,867株)を控除して計算しております。

2 株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビル株式会社退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビル株式会社が所有していた当社株式を三井住友信託銀行株式会社に信託したものが、株式会社日本カストディ銀行に再信託されたもので、議決権はアサヒビル株式会社に留保されております。

3 みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行株式会社に信託したものが、株式会社日本カストディ銀行に再信託されたもので、議決権は株式会社みずほ銀行に留保されております。

## ご案内

住所変更、  
単元未満株式の  
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため  
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式  
会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」  
について

配当金領収証にてお受取りの  
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたして  
おります。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支  
払通知書」となります。

## 未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# 株主優待品のご紹介



※画像はイメージです。

3,000円  
相当

当社の株主優待品は、厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるグルメギフトです。

「コードタイプ」のギフトのため、お申し込みはインターネット上で完結いたします。

なお、次回（2024年3月期）の株主優待のご案内は2024年6月を予定しております（2023年3月期分は2023年6月にご案内しております）。

※毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、単元株式数（100株）以上保有の株主様が対象となります（年1回）。

※内容が変更となる場合がございます。

▶商品の一例 ※はインターネット注文のみ



宮崎県産合挽き肉の  
チーズ入り生ハンバーグ



水温熟成  
西京漬けギフトセット



手延素麺揖保乃糸  
特級古



紀州産南高梅  
はちみつ入り味梅\*



京都センチュリーホテル  
アイスクリームギフト\*



五郎島金時  
ミニバウムクーヘン\*

「商業高校フードグランプリ」  
出場商品も株主優待品に採用!

愛知県立愛知商業高等学校  
きしめんチップス・きしめんセット  
(カレー味、塩味)

第9回商業高校フードグランプリ大賞受賞の「きしめんチップス マイルドカレー味」の他、角千本店のきしめんチップス旨塩味、カレーきしめん、塩きしめんをセットにしました。



ご参考

株主優待が  
届くまで

1

3月末

株主優待  
権利確定

2

6月

株主総会後、配当金書類とともに株主優待に関するご案内をご郵送いたします。優待商品をお選びいただき、お申し込みください。

3

お届け

お選びいただいた優待商品がお手元に届きます。

ISC 伊藤忠食品株式会社

■ 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811

■ 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511

■ インターネットホームページURL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

UD  
FONT



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。